

## ゲストティーチャーによる性教育の授業（3年生）

教科「保健体育（保健分野）」において、取り扱う内容について、ゲストティーチャー（外部講師）による授業を本日6校時に展開します。

外部講師として、グレイス杉山クリニック SHIBUYA (<https://grace-sugiyama.jp/>) 院長の産婦人科医である岡田 有香 先生 ([https://www.instagram.com/dr.yuka\\_okada/](https://www.instagram.com/dr.yuka_okada/)) に依頼しております。

本日のテーマは、保健体育で学ぶ学習内容をベースに専門的知見から、「思春期後期における性と人間関係について理解を深め、相手を尊重し、責任ある判断の重要性を踏まえた行動について考える。」という内容でお話をいただきます。

本日、3年生が帰宅しましたら各ご家庭で対話をして学びを振り返り、深めてほしいと思います。

具体的な学習内容は以下のとおりです。

### (1) 目標

思春期における心身の発達や人間関係について理解を深め、自他を尊重した行動や適切な意思決定の大切さに気づき、健康的な生活を送ろうとする態度を育てる。

### (2) 内容

- ・思春期における体の発達と個人差（生理を含む）
- ・心身の発達と自己の理解（性の自覚）
- ・人間関係における意思決定と同意の重要性
- ・情報社会における人間関係（SNSでの関わり）
- ・生命の誕生と健康への影響（妊娠）
- ・感染症の予防（性感染症を含む）

### (3) 授業展開

	学習活動	○指導上の留意点・配慮事項
導 入	1 本時のねらいを知り、思春期の心身の変化について振り返る。	○安心して学べる雰囲気づくりを大切に する ○多様な考え方があることを確認する
展 開	2 思春期における体の発達について理解する（生理を含む） 3 心身の発達と自己の理解を深める（性の自覚） 4 人間関係における意思決定としての「同意」について理解を深め、重要性について考える ・相手の気持ちを確認することの大切さを考える。 ・同意は対等な関係の中で成り立ち、状況によって変わることがあることを理解する。 5 情報社会における人間関係（SNSの関わり）について考える 6 生命の誕生と健康への影響について理解する（妊娠） 7 感染症の予防について理解する（性感染症を含む）	○体の発達については個人差があることを強調し、不安を与えないよう配慮する ○性の自覚は自己肯定感と結び付けて扱う ○同意は人を尊重する態度として扱い、価値観を押し付けない ○「断ってもよい」「断られたら受け止める」という双方向の視点を大切に する ○SNSについては日常生活と関連付け、適切な判断力を育てる ○妊娠や感染症は、医学的・社会的観点から一般的な内容として扱う ○具体的・詳細な方法や数値、性的な行為を想起させる表現は避ける
ま と め	8 本時の学習を振り返り、今後の生活に生かすことを考える。 ・困ったときに相談できることを確認する	○個人的な悩みは共有を強制しない ○相談先の存在を伝え、安心感を与える